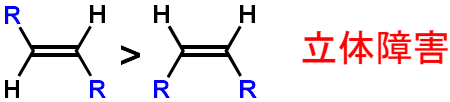
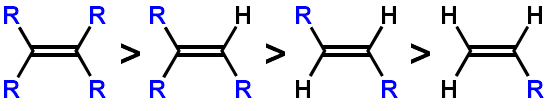


アルケンの安定性の目安

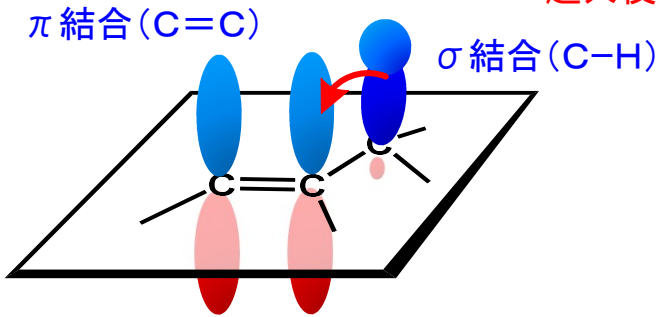
- トランスがシスより安定



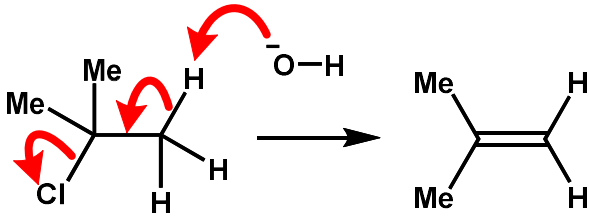
- 置換基が多いほど安定



超共役

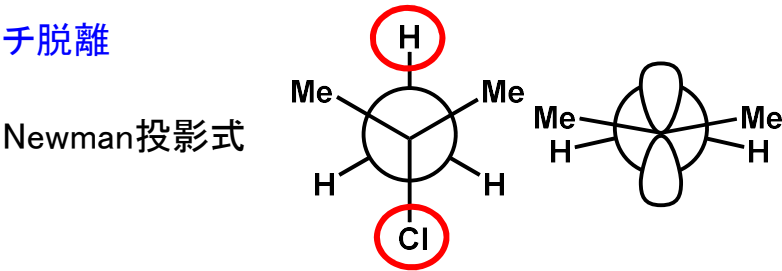


E2反応 (二分子脱離)

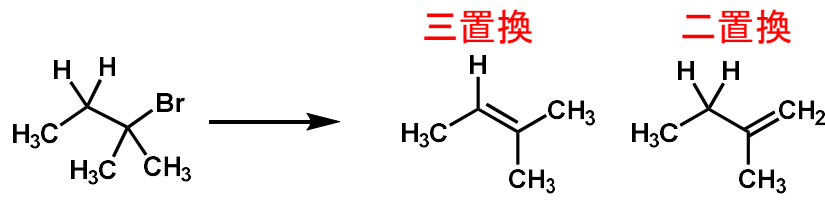


- 協奏反応 ... 1段階

- アンチ脱離



どの水素が引き抜かれるか (位置選択性)



▶ EtONa、EtOH 70 : 30

- Saytzev(ザイツェフ)則
置換が多い(安定な)アルケンが優先

▶ *t*-BuOK、*t*-BuOH 27 : 73

- Hofmann(ホフマン)則
嵩高い塩基を用いると、置換が少ないアルケンが優先

E2反応における立体特異性

